

～地域で支える大切ないのち～



演題

「誰も一人では生きられない」

講師

パーソナリティーター・書家

矢野きよ実（やのきよみ）氏

岐阜いのちの電話協会は様々な問題を抱え、日々生き辛さを感じておられる方に対し、電話やインターネットを通してその苦しさを傾聴することによって寄り添う活動をしています。毎年1回開催している市民公開講演会は、当団体の活動を広く知って頂くとともに、辛さを抱える方々を地域で支えることについて、多くの方に考えていただく機会になることを目的としています。

講師紹介

名古屋大須生まれ。15歳でファッションモデルとして芸能界デビュー。その後テレビやラジオなど活躍の場を広げ、名古屋弁による軽快なトークが話題に。17歳から始めた書で表現する独特の世界観が注目を集め、現在も書家として活躍中。東日本大震災直後から被災地の支援に入り、特に子どもたちの心に寄り添う活動を続けている。現在、医療・災害、教育現場、福祉、少年院などさまざまな分野からの講演依頼に「生きること」「命の大切さ」を伝えている。

日時 2026年2月11日(水・祝)
14時～16時 (受付13時30分～)

会場 ヤマカまなびパーク
多治見市学習館(多目的ホール)
〒507-0034 岐阜県多治見市豊岡町1-55

■ 入 場：無料、事前申込不要
(会場満席の場合は
お断りする場合があります。)

■ 定 員：200名



岐阜いのちの電話

相談電話 / 058-277-4343

年間無休毎日：19時～22時

月・水・金：12時～22時

第1・第3土曜日：8時～22時

インターネット相談も受付中

岐阜いのち

検索

アクセス

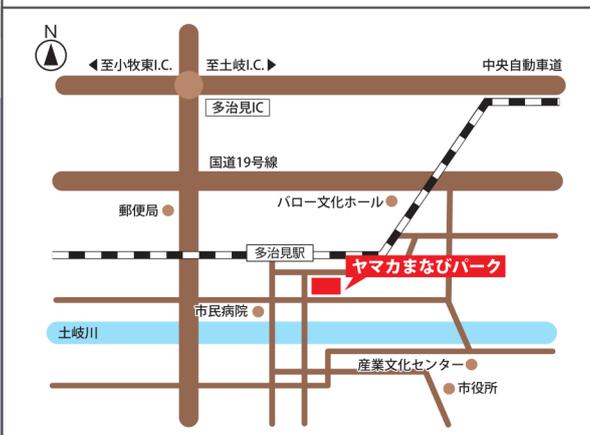
鉄道でのアクセス

JR東海 中央本線「多治見駅」より徒歩5分

車でのアクセス

中央自動車道 「多治見 I.C.」より約5分

※まなびパーク地下駐車場、または市営豊岡駐車場をご利用ください。



岐阜いのちの電話では、 相談員を募集しています。

岐阜いのちの電話は、1997年に第1期相談員養成講座を開講し、翌年の5月に相談活動をスタートしました。

現在、毎日19時～22時(月・水・金はお昼12時～22時)と第1・第3土曜日は8時～22時に活動をしています。相談電話は匿名、守秘義務を旨とし、相談員は定められた研修を修了し、「いのちの電話」の相談員として認定された人たちで、認定後も継続的に研修をしています。この電話相談員は、無償のボランティア活動で交通費・研修費も自己負担を原則としています。

あなたも、このボランティア活動に加わって、
ともに学びつつ受話器をとるひとりになりませんか。



お問い合わせは **NPO法人岐阜いのちの電話協会** まで

☎ **058-273-5387**

✉ **sec@gifu-inochi.com**
<https://gifu-inochi.com/boshu/>



2026年度対象
今後の
予定 →

募集内容の公表

ホームページに3月末に掲載します

募集要項配布

募集要項配布、4月に入って公共機関等に設置して頂きます

募集期間

2026年4月～6月初旬

研修期間

2026年6月～12月・2027年1月から実習

2025年度研修内容紹介(一部)

- ◆ いのちの電話の基本線・電話相談の実際
- ◆ 出会いとコミュニケーション
- ◆ セクシュアリティと人権を考える
- ◆ 人間関係トレーニング・ブラインドウォーク
- ◆ 今日における人権問題
- ◆ 女性への暴力と人権
- ◆ 自殺予防活動
- ◆ ホスピス(緩和ケア)における生と死
- ◆ 自死遺族に寄り添う
- ◆ 大人の発達障がいへの理解
- ◆ 傾聴・ロールプレイ・事例検討
- ◆ 精神障がい者の生活と支援
- ◆ 自殺予防と電話相談
- ◆ 電話相談と危機介入